

NEWS LETTER

名古屋市立大学男女共同参画推進センターニュースレター

発行

名古屋市立大学男女共同参画推進センター
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL : 052-853-8577
E-MAIL : sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/



Vol.21
2021.Mar.

名古屋市立大学男女共同参画推進センター長からのメッセージ

令和2年度は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、これまでとは全く異なる1年となりました。そのような中で、男女共同参画推進センターによるニュースレター第21号を例年通り皆様にお届けできることを幸甚に思います。

令和2年度のセンターの事業につきましては、年度の開始から緊急事態宣言などの影響で事業計画の多くが予定通り実施できず、またその方法においても人と人が関わることを避け、リモートによる打ち合わせや講演会などの実施となりました。当初は慣れない中で戸惑いや準備に時間を要しましたが、後半では新たな方法での気づきやこれまでにない成果も感じるまでになりました。

2月初旬、未だ緊急事態宣言下にあり、今後の動向なども不透明な状況です。しかし、今回の経験は、私たちに日々の働き方や家庭生活における性別役割等、様々なことを見直すきっかけを与えてくれました。今後はポストコロナ時代を見据え、新たな男女共同参画に関する事業に取り組んで参りたいと思います。なお、同センターの事業内容につきましては、大学のHP等で詳細に報告しております。そちらも合わせてご覧いただけますようお願い申し上げます。



センター長 山田 紀代美
(看護学研究科教授・学長補佐)

男女共同参画セミナー

オンライン(Zoom)開催/オンデマンド配信

「ワークもライフもイキイキと」

企業の働き方改革を知ろう!
(中部電力株式会社)

11月26日に、中部電力株式会社のダイバーシティ促進担当 近藤千晴氏をお迎えし、男女共同参画セミナーを開催しました。当日は学生・教職員あわせて108名、オンデマンド配信(学生のみ)は26名、合計134名の参加となりました。

中部電力では、「ライフ(心身の健康・充実した生活)」があってこそ、「ワーク」が成り立つという考えから「ライフ・ワーク・バランス」を謳っています。現場との対話を大切にする、性別問わず業務の属人化を避ける、男性の働き方改革と女性のキャリア形成の同時進行、「いかすポスト」や「ありがとうメール」といった社内独自の取り組み等を通して、業務の効率化や仕事と生活の調和をはかっている様子をお話いただきました。

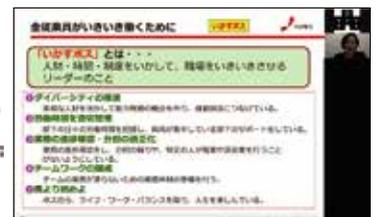
セミナーは好評で、「ただ制度を推進するだけでなく、楽しいネーミングにしているのが魅力的」(学生)、「働く母の一人として力をもらった」(教職員)等の感想が寄せられました。ポストコロナの社会を見据え、意識改革を喚起し、バランスのとれた見方を学ぶ貴重な機会となりました。



セミナーのチラシ



講師講演(参加型投票)



講師講演(取組み紹介)

NEWS LETTER
Vol.21
CONTENTS

P1 センター長からのメッセージ
男女共同参画セミナー

P2 事業報告

- 学生と研究者の懇談会
- ワーク・ライフ・バランス講演会
- 男女共同参画奨励賞 受賞者の紹介

P3 事業報告(続き)

- 研究支援制度(利用者の声)
- 教養教育科目「大学特色科目」の紹介

P4 事業報告・お知らせ

- ワーク・ライフ・バランス相談室
- さくらんぼ保育所のご紹介

REPORT 事業報告

学生と研究者の懇談会

オンライン(Zoom)開催

「ニューノーマル時代の研究者」

10月21日に学生と研究者の懇談会を開催し、学生・教員あわせて14名の参加となりました。

前半は、少人数(教員2名×学生1~2名)のグループトークを実施し、各グループで学生からの自己紹介と教員からの話題提供後、意見交換を行いました。

後半は、本センターからワーク・ライフ・バランスに関する話題提供(海外CM視聴)と、教員への質問タイムと意見交換を行いました。日常のちょっとした疑問から、教員の学生時代の話、日本と外国との子育て事情の違い、家庭内におけるケア労働の分担やコロナ禍での医療現場の実情等、様々な質問や意見が飛び交い、アットホームな雰囲気の中、大いに盛り上がりました。

参加者からは「将来のことについて詳しく考えるきっかけになりました」「学問領域をまたいで新たな学知を得る機会となりました」等大変好評で、学生と教員と一緒にワーク・ライフ・バランスについて考える貴重な機会となりました。



懇談会のチラシ



記念撮影

ワーク・ライフ・バランス講演会

オンライン(Zoom)開催

「人生100年時代~高年齢者の継続雇用・定年延長へ向けて~」

2月5日にダイバーシティ推進本部主催、男女共同参画推進センター共催でワーク・ライフ・バランス講演会をZoomによるオンラインで開催し、役員・教職員・一般あわせて55名の参加がありました。

講師として、愛知学院大学経営学部経営学科教授の関千里氏をお招きしました。関先生の専門分野は経営学、人事・労務管理論で、酒造業の人材育成や大学における産学連携教育等を研究されています。講演では、改正高年齢者雇用安定法の概要、人口構造の変化と労働力不足、労働力不足を補うための働き方改革、企業における高年齢者の人材活用の事例等、多岐にわたってお話いただきました。講演後、教育職の定年後の働き方のイメージ、定年後の継続雇用の成功事例、就職後のハラスメントについての質問があり、それに対する確に回答をしていただきました。

受講後に実施したアンケートでは、「興味深かった」「分かりやすかった」「参考になった」という感想が多数寄せられました。



講演会のチラシ



講演の様子

第8回 男女共同参画奨励賞 受賞者の紹介

男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員、学生および卒業生等に対して、学長から表彰を行うものです。今回は3件の受賞が決定しました。

活動/学生部門 (2件)

「イーブルなごやフェスティバル 2020 実行委員会企画パープルリボンダンス」

パープルリボンダンスチーム2020

世界的なダンスキャンペーンを名古屋市内で初挑戦!



本大学6名のダンスチーム

「オリジナル制作の性同一性障害/性別違和コンテンツの海外啓蒙活動と映画祭での受賞」

映像によるまちづくり
(芸術工学部情報環境デザイン学科)

国際映画祭(米国等)のLGBT部門で多数受賞!



長編映画(平成26年度制作)「Girl's Play」(女の子っこ)

活動/教職員部門 (1件)

「Gender Consequences グラフィックデザインワークショップ」

ネダ・フィルフォヴァ
(芸術工学部 講師)

芸術工学部ネダ研究室とラリオハデザイン大学[スペイン]の共同制作

海外との共同制作!



ラリオハデザイン大学にて展示



← 受賞者の詳細はこちら

令和3年度も募集を行います。詳細は本学ホームページ等でご案内いたします。多数のご応募をお待ちしております。



募集ポスターデザイン
芸術工学部・ネダ研究室
青木奏子

研究支援員制度(利用者の声)

育児、介護等により研究時間が限られている女性研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、毎年度、女性研究者に研究支援員を配置しています。令和2年度は追加募集も行い、女性研究者4名が採択されました。制度をご利用いただいた皆様のご紹介をします。

芸術工学部 産業イノベーションデザイン フィルフォヴァ講師

コロナ禍の影響で、子育てと仕事の両立に多くの困難があったにもかかわらず、支援員の献身的な支えにより、様々な研究関連業務を時間内に終えることができました。本制度は、支援員だけでなく、私自身にとっても貴重な機会と成長の経験となりました。



医学研究科 法医学分野 福田助教

この度は、ご支援をありがとうございました。今回取り組んだ研究は非常に手間がかかる実験でしたが、限られた時間内でもスムーズに進められました。支援員も楽しみながらスキルアップに繋がったようです。



令和3年度は、4月から利用者の募集を開始します。多数のご応募をお待ちしております。

教養教育科目「大学特色科目」の紹介

男女共同参画推進センターでは、学生が社会的性差(ジェンダー)と平等について理解し、考え方や行動に生かすことができるように、平成24年度から「大学特色科目」として、前期と後期に1科目ずつ開講しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインやオンデマンド、課題研究型等様々な形態で講義を中止・延期することなく実施しました。

前期「地域社会で活躍する女性」



別室講義の様子

ジェンダーについて総合的な知識、情報を得るとともに、企業や自治体における男女共同参画への取り組みや女性経営者たちの経験を通して、社会における新しい働き方を学ぶ科目です。ジェンダーの固定的役割にとらわれることなく、柔軟な発想と多様性の尊重により、企業や自治体における男女共同参画をふまえた働き方を考える機会となりました。

後期「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」



日本の社会におけるジェンダー(社会的性別役割分業)とワークライフバランスが現実になっっているのか。名市大の異なる学部や部局から多面的に講義を展開しています。理系、文系という学問の多様性を超えてジェンダーについて総合的な知見を持ち、理解しながら、学生が自ら考える望ましい社会についてジェンダーバランスとワークライフバランスの観点からデザインすることを考えました。

第1回 (4/24)	ダイバーシティ推進本部 本部長 明石恵子	ガイダンス
第2回 (5/1)	名古屋大学大学院 法学研究科 教授 田村哲樹	ジェンダー論
第3回 (5/8)		男女の家庭参画
第4回 (5/15)	名古屋市長総務局 職員部人事課	名古屋市における女性の活躍
第5回 (5/22)	ダイバーシティ推進本部 本部長 明石恵子	女性のキャリア推進における現状と課題
第6回 (5/29)	株式会社エステム 代表取締役社長 塩崎敦子	企業における女性の活躍(1)
第7回 (6/5)	社会保険労務士法人 名南経営 社労士 宮武貴美	企業における女性の活躍(2)
第8回 (6/12)	リゾートトラスト株式会社 人事企画部 CSR推進室 吉田幸代	企業における女性の活躍(3)
第9回 (6/19)	中北薬品株式会社 マネーインストラクター部 安田みきよ	企業における女性の活躍(4)
第10回 (6/26)	一般社団法人 中部 SDGs 推進センター 副代表理事 百瀬則子	企業における女性の活躍(5)
第11回 (7/3)	株式会社キャリアビジョン 代表取締役社長 野村恵美子	企業における女性の活躍(6)
第12回 (7/10)	特定非営利活動法人 参画プラネット 常任理事 重原惇子	男女共同参画の推進
第13回 (7/17)	名古屋市長総務局 市民生活部男女平等参画推進室	名古屋市の男女共同参画
第14回 (7/24)	ダイバーシティ推進本部 本部長 明石恵子	全体討論: グループワーク
第15回 (7/31)	男女共同参画推進センター センター長 山田紀代美	全体討論: グループワーク発表

第1回 (9/25)	ダイバーシティ推進本部 本部長 明石恵子 名古屋市長総務局 職員部人事課	(Zoom+課題研究)ガイダンス/ 同和問題(部落差別)の正しい理解
第2回 (10/2)	理学研究科 准教授 徳光昭夫	[Zoom] ジェンダーと科学
第3回 (10/9)	医学研究科 教授 道川 誠	[課題研究]医療における ワークライフバランス
第4回 (10/16)	薬学研究科 講師 菊池千草	[Zoom]薬剤師をとりまく 生物学的性差と社会的性差
第5回 (10/23)	病院看護部 看護師 古川陽介	[Zoom]男性看護師から見たダイバーシティ -看護における男性・女性協力
第6回 (10/30)	芸術工学研究科 教授 鈴木賢一	[Zoom]ダイバーシティと ユニバーサル・デザイン
第7回 (11/6)	看護学研究科 教授 堀田法子	[Zoom] 子どもの人権と児童虐待
第8回 (11/13)	臨床研究開発支援センター 臨床研究コーディネーター 志馬景子	[Zoom] 仕事人と家庭人の両立
第9回 (11/20)	看護学研究科 講師 杉浦和子	[課題研究] 就労女性の健康支援
第10回 (11/27)	経済学研究科 教授 山本陽子	[課題研究]ワークライフバ ランスと企業業績
第11回 (12/4)		[Zoom]職業における ダイバーシティ
第12回 (12/11)	人間文化研究科 准教授 宮下さおり	[Zoom]職業と家庭生活の 調和-オランダモデル
第13回 (12/18)	経済学研究科 教授 藤田菜々子	[Zoom]少子化とワークライフバ ランス-1930年代のスウェーデンの経験
第14回 (1/8)	ダイバーシティ推進本部 本部長 明石恵子	[課題研究]
第15回 (1/22)	ダイバーシティ推進本部 本部長 明石恵子 男女共同参画推進センター センター長 山田紀代美	[Zoom]全体討論: グループワークと発表

ワーク・ライフ・バランス相談室

個別相談

ワーク・ライフ・バランス相談室では、仕事と家庭生活の両立、妊娠・出産・子育て、研究室や職場の人間関係等についての悩みごと、困りごとの相談を受け付けています。



ワーク・ライフ・バランス相談室

問い合わせ・予約先

☎ 052-853-8577

✉ wlb-sodan@sec.nagoya-cu.ac.jp



※来年度の相談先は変更となります。
詳細は上記QRコード(ホームページ)をご覧ください。

女性研究者ランチミーティング(3/10)

オンラインで開催。2名の教職員とワーク・ライフ・バランス相談員が参加し、研究や生活における近況について、情報交換をしました。受験生を支える家族の立場から、大学進学に関する思いや、課題、希望等を共有しました。受験とは、子、親、家庭がもつ多様な価値観に気づく機会になると感じました。



ワーク・ライフ・バランス通信

月に1回程度、教職員向けにメールマガジンを配信。相談室の案内や、男女共同参画推進センターからのお知らせに加え、さまざまな話題の記事を掲載しました。

「今月のトピック」で扱ったテーマ

- 大学生が求める「ワーク・ライフ・バランス」と「成長」
- 上手に「ノー」を言えていますか？
- 介護と新型コロナ
- 「無意識の思い込み」に気づくとき

さくらんぼ保育所のご紹介

新型コロナウイルスの感染流行から1年が経過し、第2波、3波と未だ不安がぬぐえない状況が続いています。保育所内で感染対策として行ってきたマスク(大人)、手洗い、消毒、換気、加湿などは習慣化しつつあります。

この1年の間、さくらんぼでもさまざまな行事やプールなどの取組み、懇談会など保護者との交流の場についても、中止、縮小など開催方法の検討を余儀なくされました。行事や保育の取組みについて、“止めるのは簡単”ですが、どの行事や取組みも子どもの豊かな生活と成長のためには



プールの様子



クリスマスの様子

欠かせないものです。“どういふ方法で行えば感染のリスクを減らせるだろうか”という視点に立って、実施を前提に職員間で検討し進めてきました。その結果、密を避けるためクラス単位での実施、幼児クラスのための参加といった、いつもとは違う形であっても、「たのしかった～!またやりたい!」と笑顔いっぱいの子どもの姿がありました。

どんな状況下でも、子どもたちとともにワクワク楽しい生活を創っていこうと思いを新たにしているところです。

(さくらんぼ保育所)

2021年3月現在、本学の女性教員比率は **22.8%** です。